

# ようこそ不思議な石の世界へ14 — 鉱物の立体模型をつくろう —

しぜんしりょうかん  
きしわだ自然資料館

## 1. 石が好きな君たちへ

こうぶつ みわ おお て かたち おも  
鉱物を見分けるとき、いちばん大きな手がかりになるのは「形」だと思う。

ひょうほん こうぶつほんとう かたち み  
たくさんの標本をよくみると、その鉱物の本当の「形」が見えてくるぞ。

ゆがんだところをなお か つ た ほんとう かたち りそうけい おも  
ゆがんだところを直し、欠けたところを付け足して、本当の形（理想形）を思

いかべてみよう。どの鉱物も「平らな面でかこまれた規則正しい形」をして

いることがわかるはずだ。これは凸多面体とよばれている。



おうてっこう  
黄鉄鉱（パイライト）

## 2. 模型をつくってみよう



りっぽうたい かたち  
立方体からいろいろな形をつくりだせる

こうぶつ もけい ざいりょう かたち  
では、鉱物の模型をつくってみよう。材料は、サイコロの形

りっぽうたい はっぼう えん おお  
（立方体）の発泡スチロールだ。100円ショップでいろんな大き

さのものが売られている。5センチくらいのが使いやすいだろう。

りっぽうたい へん かど こうぶつ たいしゅうせい  
立方体の辺や角を、鉱物のルール（「対称性」という）にしたが

って規則正しく切っていくと、うつくしい形があらわれてくる。

## 3. 注意すること

はっぼう やわ き  
発泡スチロールはと軟らかいので、普通のカッターでかんたんに切ることができる。きれいに切るに

はニクロム線をつかった熱線カッター（スチロールカッター）が良い。模型をつくるときには、ケガや

ヤケドをしないように、かならず手袋をしよう。

## 4. 参考にした本

- ① 『もっと！ 鉱物を楽しみたい7』、露猫綾乃、つゆねこ企画、2008年
- ② 『鉱物結晶図鑑』、野呂輝雄・松原聡、東海大学出版会、2013年